

社会学委員会
災害を克服する地域社会と社会的モニタリング検討分科会
(第26期・第1回)

議 事 要 旨

1. 会議名 社会学委員会災害を克服する地域社会と社会的モニタリング検討分科会
(第26期・第1回)
2. 日 時 令和6年3月14日(木) 10:00~13:00
3. 形 式 オンライン会議
4. 出席者 青柳みどり、浅川達人、池田恵子、岩井紀子、梅屋潔、奥村弘、玉野和志、
中澤秀雄、町村敬志、山下祐介

オブザーバー：阿部晃成（宮城大学特任助教・雄勝町の雄勝地区を考える会代表）
増田聡（東北大学大学院経済学研究科教授・震災復興研究センター長）、
三浦友幸（気仙沼市議会議員、「防潮堤を勉強する会」発起人）
市村高志（富岡町の市民団体 TCF (Tomioka, Connection, Fellowship) 共同
代表、法政大学大学院公共政策研究科公共政策専攻博士課程後期)

5. 議 題 (1) 委員の紹介
- (2) 役員を選出：
・審議の結果、役員について次のように決定した。
- | | | |
|------|------|------|
| 委員長 | 山下祐介 | 連携会員 |
| 副委員長 | 町村敬志 | 連携会員 |
| 幹事 | 池田恵子 | 連携会員 |
| 幹事 | 中澤秀雄 | 連携会員 |
- (3) 特任連携会員の推薦：
・設置趣旨を踏まえ、社会学以外の分野で災害復興やモニタリングについて豊かな知見を備えた専門家として、増田聡氏（東北大学大学院経済学研究科教授）を連携会員(特任)として推薦することを承認した。
- (4) 能登半島地震で現地に通う災害社会学の専門家からの情報提供・質疑応答
・阿部晃成氏：能登半島地震の初動対応状況について
二次避難を含む、避難の広域化と、復興との接続に関わる課題
- (5) 東日本大震災の復興について
・増田聡氏：東日本大震災の復興政策のその後の展開について
・三浦友幸氏：震災時における気仙沼の状況および復興の現状について

- ・市村高志氏：原発避難の現状と復興の課題について

(6) 26期分科会の進め方

- ・今期の活動方針について審議を行い、主要な検討課題、意見発出について意見交換を行った。

(7) 次回の分科会の開催時期

- ・第2回分科会は、4月に開催する報告で準備を進める。